

福井県知事選挙および福井県議会議員選挙の投票日に当たっての 福井県選挙管理委員会委員長談話

本日は、福井県知事選挙および福井県議会議員選挙の投票日です。

申すまでもなく、選挙は民主主義の基盤を成すものであり、とりわけ地方選挙は身近な政治に対して住民が意見を表明する最大の機会であります。

今回の統一地方選挙は、平成から新たな時代となる中、人口減少・少子高齢化や交流新時代に対応し、今後の福井県政を発展させるための方向性を決定する非常に重要な意義を有するものであります。

福井県選挙管理委員会では、この選挙の意義を深く認識し、「スマホ置き、投票紙持ち、まず一票。」を統一標語に掲げ、県明るい選挙推進協議会や各市町と一体となって多くの有権者の皆様に投票への総参加ときれいな選挙の推進を目指して啓発活動を実施してきました。

特に、今回の選挙は、選挙権年齢が満18歳以上へと引き下げられてから初めての統一地方選挙となることから、県内の若者による一日選挙管理委員やショッピングセンターでの街頭啓発に加え、明るい選挙推進青年活動隊CEPTとともに、高校の卒業式や合同企業説明会、合同入社式で投票を呼びかけました。また、経済団体をはじめ各種団体などに投票しやすい環境整備を要請するなど、若者を中心に幅広い世代の有権者に対して、投票総参加を積極的に呼びかけました。

有権者の皆様におかれては、今後の4年間の県政を託す知事と県議会議員を選ぶ今回の選挙が、県民の生活に直接大きく関わってくるものであることを十分認識され、自らの大切な一票を投じられるよう切望いたします。

また、各市町選挙管理委員会におかれましては、期日前投票の事務におけるこれまでの御労苦に心から敬意を表しますとともに、細心の注意を払って、本日の投票事務および開票事務の管理執行に当たられるようお願いいたします。

平成31年4月7日

福井県選挙管理委員会
委員長 金井 亨